

B級戦法の切り札 レベル8 著 風車右玉戦法!



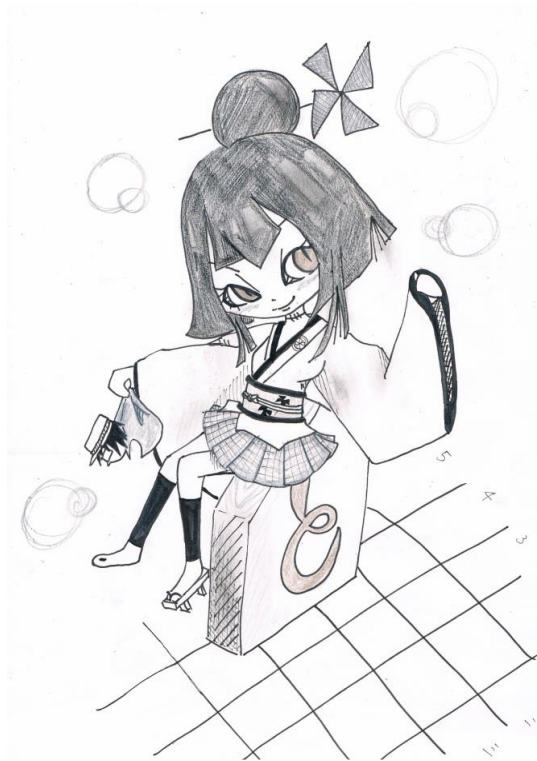
待望の、右玉サイトLevel.8作者処女作
風車右玉戦法実例集!!

あくまで美しく、
戦い方に美学がある。

【イベント限定】
製本版!

B級戦法の切り札 風車右玉戦法！

レベル8 著



はしがき

こんにちは。初めましての方には初めまして。エイトです。
タイトルを見て「堅さ全盛の時代なのに右玉？」と笑われた方もいるでしょう。
たしかに、消えた戦法と言われるほど相当勝ちにくい戦法です。プロの対局で
見かけることは極めて稀になりました。

いまなぜ右玉なのか。
それは、私がこれまでに「右玉を覚えたい、勝ちたい、面白い」という方々を
たくさんみてきたからです。消えた戦法なのに興味がある人ってこんなにいる
んだなと、びっくりするくらいでした。意外と需要は高いのです。

ところが現在、右玉のバイブルである『右玉伝説』、『風車の美学』は絶版。
オークションなどで高価で売買され、手頃に入手することは難しくなりました。
本来は、まずこれらの名著を読めば右玉の基本は身に付きます。復刻されるの
が一番なのですが、大手の場合、どの戦法が流行っているのか需要をしっかりと
見極めたうえで出版されるので、再び書店に並ぶ日は来ないでしょう。

ならば、思い切って私自身の手で新しい本を書いてしまおう。それが本書で
湧き上がってきた思いでした。

私はただの右玉好きなアマチュアで、実績はおろか棋力も地力ありません。
ですが、かわりに私にはウェブサイトで『Level.8』という右玉専門サイトを10
年続けてきた経験があります。右玉の序盤は誰にも負けない自信がありますし、
掲示板に寄せられた様々な悩みにも答えてきました。また、研究は時間無制限、
努力と工夫であると確信しています。

サイトは色々あって閉鎖になりましたが、私がこの10年の間何をしてきたか、
全部この本でお見せしたいと思います。

本書は製作開始から1年で書きあげたのですが、サイトの内容を移植するの
ではなく、新たなものを届けたいという意思で書きました。培ったノウハウを
集約・具現化したものを出したかったですし、机上の空論ではなく、私自身の
実戦譜を紹介することで実戦でも使えるんだな、というのを見せたかったので。

本書が、右玉の持つ魅力や楽しさといったものを伝え、右玉を愛するすべて
の方々にとって、自分のオリジナルな右玉を指すときの手助けとなれば、幸いです。

CONTENTS

はしがき	003
本書の右玉について	006

第1章 右玉の基本 007

右玉の手順	008
右玉の利点と弱点	012
右玉の攻め方	018
コラム：大正ロマンの右玉	024

第2章 角交換型編 025

実戦01 対天鬼神王戦	026
実戦02 対天位戦	029
実戦03 対鬼神帝戦	031
コラム：石田流と中住まい	034

第3章 棒銀編 035

実戦04 対天位戦	036
実戦05 対天鬼神王戦	039
実戦06 対天位戦	044
コラム：再来をCPUが告げる	046

第4章 早仕掛け編

047

実戦07 対天鬼神王戦	048
実戦08 対大天鬼神王戦	056
実戦09 対@X戦	060

第5章 袖飛車編

063

実戦10 対KAC戦（1）	064
実戦11 対KAC戦（2）	066
コラム：プロの袖飛車対策	068
実戦12 対KAC戦（3）	070

第6章 菊水矢倉編

073

実戦13 対天鬼神王戦	074
実戦14 対天鬼神王戦	077
コラム：常識理論の表と裏	080

第7章 居飛車穴熊編

083

実戦15 対CPU戦	084
実戦16 対天位戦	089
あとがき	095

本書の右玉について

本書で紹介している右玉は、すべて風車右玉の指し方について書かれています。この右玉は、角道を止め、そしてツノ銀型にする右玉です。

右玉にはいくつかのタイプがありますが、本書では『風車右玉』を『右玉』と表記しています。

【風車右玉】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										一
二										二
三										三
四										四
五										五
六			歩	歩		歩	歩	歩	歩	六 先手
七	歩	歩	角	銀	歩	銀	桂			七 なし
八			金		金	玉				八
九	香	桂						飛	香	九

<その他のタイプの右玉>

【矢倉右玉】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										一
二										二
三										三
四										四
五										五
六			歩		歩	歩	歩	歩	歩	六 先手
七	歩	歩		歩	銀	銀	桂			七 なし
八		角	金			金	玉			八
九	香	桂						飛	香	九

【雁木右玉】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										一
二										二
三										三
四										四
五										五
六			歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	六 先手
七	歩	歩	角	銀	銀	金	桂			七 なし
八			金			玉				八
九	香	桂						飛	香	九

第 1 章 右玉の基本

右玉は好きだけど、右玉を指してみると、どうも思ったような展開にならない。そんな悩みをもつ人も多いはず。この章を読んで、まずは右玉の基本をマスターしましょう。



右玉の手順

この章ではまず、右玉を指したことがほとんどない人を対象に、右玉の駒組みの手順について簡単に触れておきます。

1：ツノ銀の形をつくる

初手からの指し手

▲7六歩 ▲6六歩 ▲6八銀
▲6七銀 ▲4八銀 ▲4六歩
▲4七銀 (第1図)

最初に、ツノ銀の形(第1図)をつくります。ふたつの銀が牛のツノのように見えることから、この名前がつきました。

右玉は振り飛車の形からでも組むことができますが、作戦に適した飛車の位置が存在するので、序盤のうちに飛車の位置は決めません。どこかに飛車を振った時点で、右玉は作戦の選択肢を狭めることになります。居飛車にして駒組みを進めましょう。

【第1図】



2：玉の移動

第1図以下の指し手

▲3六歩 ▲7八金 ▲4八玉
▲3七桂 (第2図)

玉を右へ囲います。普通「玉飛接近すべからず」と言われ、第2図のように玉と飛車が寄り合うのはやってはいけない悪形ですが、大丈夫。

▲3七桂と跳ねてスペース空け、下段の風通しをよくします。

【第2図】



第 2 章 角交換型編

右玉への角交換は、実戦では必ずといってよいほど見かける指し方です。これに対し右玉は、前章の攻め方で紹介した地下鉄飛からの逆襲が有効で、飛車をぐるりと転戦する指し方はこれぞ風車右玉です。



初手からの指し手

▲7六歩 △8四歩 ▲7八銀 △3四歩 ▲6六歩 △6二銀
 ▲6七銀 △5四歩 ▲4八銀 △5二金右 ▲4六歩 △8五歩
 ▲7七角 △4二玉 ▲4七銀 △3二玉 ▲3六歩 △7四歩
 ▲7八金 △4二銀 ▲3七桂 △4四歩 ▲4八玉 △3三銀
 ▲2九飛 △3一角 ▲2六歩 △4三金 ▲1六歩 △1四歩
 ▲3八玉 △8六歩 (第1図)

角交換型は、まず△8六歩(第1図)と飛車先を切るところから始まります。先手としては飛車先の歩を切られるうに、角を捌かれて損に思えますが、右玉は角交換に強いので、この交換は右玉にとってのほうがメリットが大きいです。

狙われやすく負担(おとり)ともいえる角を交換でき、しかも、前章で紹介した8筋逆襲があるため、右玉への角交換は疑問手とも言われるほど。右玉から持ち込みたいところを相手からしてくれるのですから、数多い序盤戦のなかではうれしい戦型です。

第1図以下の指し手

▲同歩 △同角 ▲同角
 △同飛 ▲8七歩 (第2図)

右玉に角交換型は決して好ましくないとされるのですが、非常に多く遭遇し、とにかく、それが現状です。

交換後は▲8七歩(第2図)と落着いて歩を打ちます。これについては、どうせ▲8九飛から逆襲するのだから歩を受けるよりも、▲4八金△8二飛

【第1図】



【第2図】



【再掲 第4図】



第2図以下の指し手

▲2六歩 △6四歩 ▲2五歩
 △6五歩 ▲同歩 △6六歩
 ▲5六銀左 △5五歩 ▲4五銀
 △6五桂 ▲8八角 △8六歩
 ▲同歩 △同銀 (第3図)

【第3図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
二歩	香				金	玉	桂	香	一	
				金		銀	角		二	
歩					歩		歩	歩	三	
後手			飛				歩		四	
				桂	歩	銀		歩	五	
		銀		歩		歩	歩		六	
	歩				歩	銀	桂	歩	七	
		角	金		金	玉			八	
	香	桂						飛	香	九

▲先手 歩三

袖飛車の狙いはわかりやすいですが、右玉にはこの△6四歩～△6五歩をブロックできる手がありません。▲2六歩～▲2五歩と飛車先を伸ばすくらいですが、第3図で左辺のつぶれが確定し、後手優勢です。

じっくり右玉を創りあげていくような指し方では対応が間に合いませんでした。単純ではありますがそれゆえの強力さ。わずか40数手で対局を終わらせる威力を秘めています。これが袖飛車の厄介なところです。



コラム：プロの袖飛車対策

KAC優勝者との対戦では、ほとんど勝負にできず苦戦を強いられました。ではプロの袖飛車対策にはどのようなものがあるのでしょうか？

まず渡辺明竜王 v s 南芳一九段戦（第65期順位戦B級2組）より。南九段といえば『南の右玉』の著者。受け方に期待したいところです。

登場したのは、第1図△5二金。▲3五銀を許すので大胆な受けですが、第1図以下▲3五銀△同銀▲同飛△4三金右▲3四銀△同金▲同飛△4三銀▲3九飛△3四歩（第2図）と受け止め右玉に組めると見ています。

しかしやはり序盤で金銀交換が大きすぎたのか、第3図△6二玉と右玉にしたものの、以下▲7七角△1四歩▲1六歩△7四歩▲4四歩△同銀右▲6五金で先手有利。結果は渡辺竜王が勝利しています。

平手というより駒落ち感覚。そして駒落ちの技量がないと勝つことは難しいでしょう。プロ棋士ならともかく、真似すると痛い目を見そうです。

【第1図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂			玉			桂	香	一	
二	飛		銀	金		金			二	
三		歩	歩			角	歩	歩	三	
四				歩	歩	銀			四	
五	歩					歩	歩		五	
六			歩	歩	銀				六	▲渡辺
七	歩	歩		歩	歩			歩	七	なし
八		角	銀		金		飛		八	
九	香	桂	玉	金			桂	香	九	

【第2図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	香	桂		玉			桂	香	一	
南		飛		銀		金			二	
			歩	歩		角	歩	歩	三	
		歩			歩	歩	歩		四	
	歩						歩		五	
			歩	歩					六	
	歩	歩		歩	歩			歩	七	
		角	銀		金				八	
	香	桂	玉	金			飛	桂	香	九

▲渡辺 金歩

【第3図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	香	桂						桂	香	一
南		飛		玉		金		角		二
口			歩	歩	銀	銀	歩	歩		三
					歩	歩	歩			四
	歩	歩			歩		歩	歩		五
			歩	歩						六
	歩	歩		歩			桂	歩		七
		角	銀	金						八
	香	桂	玉	金		飛			香	九

▲渡辺 金

第5図以下の指し手

△8二飛 ▲8九飛 △7八歩
▲5七角 △2三銀 ▲6六金
(第6図)

▲6六金とさらに金を繰り出して中央を固めます。常識では4段目に金を繰り出すなど型破りといわざるをえませんが、右玉では活き活き働かせていくという考え方なのです。

第6図以下の指し手

△5五歩 ▲6七銀 △5四銀
▲7五歩 △4五歩 ▲同歩
△同桂 ▲同桂 △同銀
▲5五金 △5四金 ▲同金
△同銀 (第7図)

序盤で遊んでいた金を天王山まで引っぱって来れました。しかも相手の△5四金で、結果としてこちらは遊び駒を交換でき、相手の守備を弱めることができたので一石二鳥です。

しかし流石鍛えの入った奨励会員。第7図で▲5六歩と緩手を指したのを境に、一気にけりをつけられてしまいました(△3三角が好手です)。

正着は、第7図で▲6六銀として両取りの桂を受ける手でしょうか。以下△3三角▲5五歩△同銀▲4五桂△4四角▲5五銀△同角▲4六角(第8図)。これならまだまだ互角の勝負が続いていたと思います。

玉形に差があるため、勝ち切るのは大変ですが、中飛車型は是非とも採用していただきたい作戦です。

【第6図】



【第7図】



【第8図】





レベル8 (Level Eight)

東京都出身。1985年5月31日生まれ。2010年、東京眼鏡専門学校卒業。右玉サイト『Level.8』をウェブ上に立ち上げ右玉を10年以上研究。それだけにその頭には、右玉のあらゆるデータが詰まっているという。

B級戦法の切り札 風車右玉戦法！

2013年3月27日 初版発行

2019年5月19日 第4版発行

著者 レベル8

カバーイラスト 織葉紗マサヒロ

トビライラスト M i s t y
黒飴
椿
イチチ
初見の俺
太郎
みっくん
襟川警一

本文イラスト コクギ
侯爵
白音コウ
弐流紳士

本書は著作権法上の保護を受けています。

本書の一部または全部を転載・複写・複製することを禁じます。



入門!!右玉使いのための実例集!!

「駒組み」「利点・弱点」「攻め方」など、
風車右玉の典型的な戦い方を学習できる基本から、
急戦を中心とした対策、さらに、菊水・居飛穴対策まで……

16の実戦パターンを1冊で紹介